

JEITA プロジェクトマネージャー向け ソフトウェア開発モデル契約セミナー 「トラブル事例から学ぶ、プロジェクト成功に 向けたモデル契約活用のポイント」

■主 催：ソリューションサービス事業委員会 ソフト開発モデル契約WG

■担当部署：インダストリ・システム部

■参加者数：約250名（東京2日、大阪1日）

概 要

社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）ソリューションサービス事業委員会は、ソリューションサービスをわが国の競争力ある産業として育成するため、ビジネス環境の整備、ソリューションサービス品質の向上等についての施策提言や普及推進活動を行っております。

同委員会に設置したソフト開発モデル契約WGでは、経済産業省が先に公表した「情報システム・モデル取引・契約書〈第一版〉（2007年4月）」に掲載された「ソフトウェア開発委託基本モデル契約書」をベースに、「JEITA ソフトウェア開発基本契約書」を策定するとともに、その解説書である『ソフトウェア開発モデル契約の解説』を株式会社商事法務より2008年10月に出版いたしました。

そして同WGでは、いかにしてユーザとベンダ間でトラ

ブルを生じることなく信頼性の高いシステムを構築していくかという観点から、そのためのツールとしての『JEITAモデル契約書』をご理解・ご活用いただくことを目的に、主に法務・営業部門の方を対象とした普及啓発セミナーを実施しております。

本年度は、情報サービス・ソフトウェア産業団体が構成された「情報システム・ソフトウェア取引高度化コンソーシアム」において公表された「情報システム・ソフトウェア取引トラブル事例集」を題材として、信頼性の高い情報システム・ソフトウェアの構築のために、特に鍵を握るユーザ・ベンダのプロジェクトマネージャーの方を主たる対象者として、収載トラブル事例のポイントと『JEITA モデル契約書』の活用のポイントについて具体的に説明を行いました。

プログラム

○情報システム・ソフトウェア取引のトラブルの傾向と当WGの取り組み

○プロジェクトマネージャーとして特に知っておいてほしい、トラブル事例とJEITAモデル契約書活用のポイント

- ～ 正式契約締結前の作業着手に関するトラブル
- ～ 業務範囲を巡るトラブル
- ～ 作業の遂行を巡るトラブル

